



口腔ケアブラシの紹介

当院では、口腔の状態を観察し、歯や口内の乾燥の有無、嚥下機能に合わせたブラシの選択を行っています。以下に、院内で使用しているブラシを紹介します。口腔ケアは、口内を清潔にするだけでなく、肺炎や全身の病気の発症予防に関連があることがわかってきました。当院には、歯科衛生士が毎週3回来てくれていますので、分からないことがあれば遠慮なく聞いてください。

① タフト24滅菌済み歯ブラシ(キャップ付き)

歯は歯ブラシで歯磨きを行います。口腔内に一本でも歯があれば、歯ブラシを選択しています。適度な柔らかさで、歯肉を傷つけず汚れをしっかりと落とせます。



② デントエラック

タフト24よりもブラシ部分が大きく柔らかい形状です。歯だけでなく、歯肉、頬の内側、舌、上あごと口腔内全体のケアに使えます。汚れを取るだけでなく、くるりナブラシを使用する要領でデントラックを動かすと、口腔内全体のマッサージにも使用できます。マッサージで粘膜が刺激され、唾液の分泌が促進されます。



③ ミニモアブラシ

ブラシがソフトな形状になっていて、口腔内が過敏な方に使用できます。開口困難な方の舌や粘膜などをケアするのに適した柔らかさです。



④ 吸引くるりナブラシ

寝たきりの方などの、頬の内側や舌、口の奥の痰や唾液を吸引しながらケアできます。

⑤ 吸引ICUブラシ

先端のブラシがくるりナブラシより小さめで、気管内挿管をしている方や開口困難な方の口腔ケアに適しています。

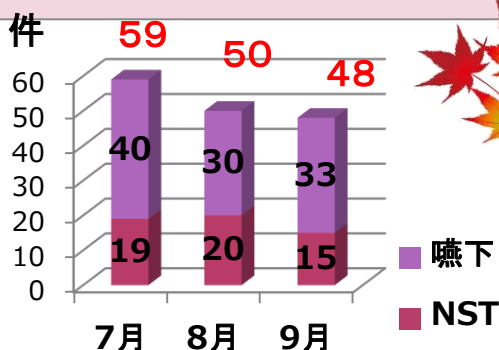


⑥ 舌苔トル

舌苔の除去に使用します。舌表面は絨毯のようになっていて、そこ沢山の細菌が付着すると口臭の原因になります。先端のフィン部分を舌の奥から手前に向けて2~3回軽くこすって舌苔を掻き出します。



月別栄養サポートチーム加算件数



●NST からのお知らせ

編集担当： 柴田&坂本看護師

10月からNSTの専任医師が山本美佐子耳鼻咽喉科部長に変わりました。また、三宅管理栄養士が40時間の研修を終え、NST専任メンバーに加わります。よろしくお願いします！

●第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術集会で発表！

更紗里奈言語聴覚士が「上顎と下顎のPAP調整を行い、食事摂取可能となった頭頸部癌術後の一症例」という演題で発表してきました。

